

平成30年度学校自己評価システムシート (県立深谷第一高等学校)

目指す学校像	1 広い視野を持ち自ら学び続ける意欲と態度を持った人間を育成する。 2 文化やスポーツを愛し、人と人との絆を大切に作る人間を育成する。
--------	--

重点目標	1 新しい大学入試に対応するために必要な体制を整え、教育計画を立案・実行する 2 キャリア意識の向上と目標に向かって最大限の努力を促す進路指導を推進する。 3 部活動と生徒会活動を更に活性化する。 4 地域との連携や外部教育力の活用を通じ、教育活動を更に充実する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	8名
	事務局(教職員)	7名

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
1	【現状】 多くの生徒が授業に真面目に丁寧に取り組んでおり、さらに意欲的に学習に取り組む授業への工夫改善が求められる。 【課題】 自学自習の習慣を確立させ、学習内容を身に付けさせるため、家庭学習(自己学習時間)の意欲を高める指導が必要である。	主体的・対話的で深い学びの実践(授業改善の推進)	①年次研の研究授業や授業公開週間中の互見授業、研修会等による授業改善指導力向上 ②授業時数の確保	①年次研や授業公開での授業研究と研修会の実施 ②授業公開週間中の互見授業 ③定期考査の工夫 ④授業振り替えの徹底	年次研、協調学習の授業研究を6回実施 公開授業(全教員)と研究協議を実施 授業公開週間来校者アンケート結果集約 定期考査を分析検討(各教科) ビブリオバトルの実施、図書館利用授業51 祝日行事等による授業時間調整(各学期)	A ＜課題＞ ・学力の向上 ・家庭学習時間の確保 ＜改善策＞ ・授業改善の推進 ・保護者アンケートの結果から学校行事部活動については高い理解を得ているが準備、練習の効率化を図る
		自学自習の定着	①教科・学年間の連携を深め、予習・復習の徹底と家庭学習時間を確保 ②教科の特色を生かした課題等の工夫 ③課外補習等の講座を数多く設定	①自己学習時間の増加 ②プリント学習(宿題)の増加 ③課外講座等の開設講座数の増加	1年生の家庭学習時間が増加 小テスト課題テストの実施 新聞学習・読書プリント等の活用 進学補習・課業日11講座、夏期26講座	B
2	【現状】 スタディサポートの活用など生徒の多様な進路希望に対応するためのきめ細やかな指導を行っている。 【課題】 進路指導計画及び大学入試改革についての情報周知と将来を見据えた堅実な進路選択の促しと、より高い目標への挑戦に向けた意欲の喚起が必要である。	キャリア教育の推進	①入試改革に対応する3年間を見通したキャリア教育の実施 ②ガイダンス機能の充実 ③保護者への情報提供	①スタディサポートの活用とともにキャリア教育の視点で進路指導計画策定、進路指導の実施 ②分野別ガイダンスや卒業生の進路体験発表会等の企画・実施 ③進路だよりや保護者進学学習会による情報提供	スタディサポート担任対象研修会および自己診断振り返りの実施 GTECの導入と結果分析研修会の実施 110周年記念講演会「思うは招く」実施 進路だより37回発行(1/8現在) 保護者対象進路講演会(6/2実施)	A ＜課題＞ ・スタディサポートに加え、2年実力診断テスト、3年実力判定テストを学びの基礎診断として活用 ・進路指導計画の周知徹底 ・補習日の確保 ＜改善策＞ ・スタディサポートや模試の実施時期や問題設定を検討する ・ホームページの更なる活用 ・補習日の設定(会議・行事との調整)
		生徒の進路への関心・意欲の向上	①個別の進路相談、面接指導の充実 ②一般受験対応クラスの受験意識の向上 ③外部教育力の活用 ④高大連携	①進路相談、面接指導の充実による現役進路決定率の向上 ②一般受験対応クラスの一般受験生の増加 ③外部講師による講演会等の複数実施 ④高大連携事業実施回数及び参加生徒数	センター試験受験者71名 一般受験生53名(1/28現在、前年比+24) 外部講師による指導計21回実施 高大連携事業3回実施計87名参加	A
3	【現状】 集団や社会の一員としての自覚と責任感を深め、望ましい人間関係を形成できるよう部活動と学校行事等の活性化を図っている。 【課題】 部活動や生徒会活動の活性化及び更なる規範意識の向上を図る必要がある。	部活動等の活性化	①部活指導の一層の充実 ②トレーニング室の安全有効活用 ③学校行事の充実と発展	①1年生全員加入と定着率の増加 ②トレーニング室の活用状況 ③生徒による文化祭等の自主的運営状況	部活動加入率85.1%(10月現在) 全国大会出場(弓道、放送) 関東大会出場(弓道・陸上・放送・吹奏楽) 行事運営における生徒の自主性向上	A ＜課題＞ ・スマホに関わる時間が長い ・自転車マナー違反の苦情がある
		規律ある態度の育成	①生活ルールとマナーの組織的指導 ②スマホの適切な使用 ③地域機関と交通事故防止協力	①身だしなみの指導 ②ネット社会トラブル防止講演会の実施 ③交通安全教室の実施	学期毎の学年集会で指導 登下校指導週間を計5回実施 ネット社会トラブル防止講演会を実施 自転車交通安全教室伝達講習会実施	B ＜改善策＞ ・スタディサポートの学習状況リサーチを活用する ・登下校時の立哨指導を継続する
4	【現状】 広報活動の充実により、地域からの評価は高くなるとともに保護者・地域・中学生からの本校に対する期待は非常に大きくなっている。 【課題】 ホームページの内容を更に充実させ本校からの情報発信力を高めるとともに地域との交流を促進し本校への理解を深める必要がある。	広報活動と生徒募集の充実	①学校内外の説明会の実施 ②ホームページの更新や、最新の教育活動内容(大学入試改革、学校行事、部活動等)の発信 ③保護者アンケートの実施	①学校説明会・個別相談会参加者の増加 ②ホームページ更新年間延べ250回とアクセス数の増加 ③保護者アンケートの実施・集計・報告	説明会参加者数2,482名(前年比+287) 本校希望者倍率1.55倍(12/15現在) ホームページ更新回数300回以上 年間アクセス数458,196件(1月末) 保護者アンケート実施集約	A ＜課題＞ ・北部地区中学生数の減少が続く ・保護者アンケートの結果から保護者のホームページ閲覧回数が少ない
		地域と交流及び学校内外の美化の促進	①積極的な地域活動への参加 ②PTA・生徒会主導による学校内外の美化活動の推進 ③学校関係者との連携強化	①地元小学校等との交流や深谷市関連行事への積極的参加 ②生徒、PTAによる美化活動の実施状況 ③評価懇話会等の活性化	家庭部・書道部・吹奏楽部が常盤小学校、岡部小学校、大寄小学校と交流 深谷警察署交通安全キャンペーン生徒会・家庭部 PTA花植2回実施延べ188名参加 深谷花フェスタ、PTA、茶道部、JRC部、家庭部 ワールドカフェ方式の実施と参加生徒の増加	A ＜改善策＞ ・効果的な生徒募集を継続する ・保護者向けに本校ホームページについて浸透を図る

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成31年2月13日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に積極的に取り組んでおり全体にレベルアップしている。 ・授業の中で先生と生徒の距離が近いと感じた。 ・先生方が工夫して授業をしてくれている。 ・各教科で家庭学習時間増加に向けた取り組みが見られる。成果も出てきているので継続してほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・組織的計画的な指導で進路実績は向上している。 ・大学入試改革への対応が適切で早い。もっとPRしていいのではないかな。 ・外部教育力の活用が効果を上げている。さらに充実してほしい。 ・スタディサポートは学力と進路について継続的に考えることができるので生かしていきたい。 ・大学に入った後の事をもっと教えてほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や部活動への取り組みはすばらしい。 ・行事では生徒会と部活の連携を強めたい。 ・自転車マナーはかなり良くなった。地元も理解しているが事故防止努めてほしい。 ・生徒会としても交通安全の声掛け運動をしたい ・心身の健康のためにスマホに対しての継続的な指導が必要である。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流が活発で地元としてもありがたい。今後もこの交流を続けていきたい。 ・保護者アンケートの集計結果を今後の取り組みに生かしてほしい。 ・生徒が家庭で学校ホームページについて話題にするとよいのではないかな。 ・学校説明会では学校ホームページそのものを中学生にPRしたい。 	